

希望校への合格を果たすには

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。

今日は、受験生は希望校に合格するために全力を出そうというお話をさせていただきます。公立高校入試までは 4 か月あまり、1 月中旬にはセンター試験が実施されますので、大学入試までも 3 か月程しかありません。どちらもあと少しです。

2. 希望校に合格を果たすには

希望校に合格するにはどうしたらよいのでしょうか。いくつかの条件があります。

(1) その 1 つは、「何が何でも希望する学校に自分の力で合格するんだ」と強い意志を持つことです。これを持つか持たないかで、合否が決まってしまうのではないかと思います。具体的には、「高校合格」と、ノートに書いて毎日眺めたり、紙に書き机の前に貼り付けて勉強する前後にじっと見たりして、「絶対に合格するぞ」と自分に言い聞かせ、心を奮い立たせることが大切だと思います。

(2) 2 つめは、「学習効果」は「学習時間」×「学習方法」によって得られるということを認識することです。私は、このかけ算が大好きで、この番組を始めた 21 年前から何回もお話しておりますので、聴取されている方の中には覚えて下さっている方もいらっしゃると思います。

かけ算ですので、片方でゼロだと効果が出ません。学習方法がいくらよくても、学習時間がゼロだと学習効果はゼロです。学習時間をいくら多くとっても、学習方法が間違っていれば効果は出ません。

(3) 次に、学習時間を確保するにはどうしたらよいからお話します。受験生は、眠っている時間以外は勉強するぞぐらいのつもりで、一日を過ごすことが大事です。睡眠は、生きるために脳を活性化させるために必要ですから、受験生であっても 1 日 7 ~ 8 時間の睡眠時間を確保して下さい。そして、それ以外は受験勉強に当たるつもりで 1 日を考えたらいいと思います。そのためには、長風呂、長電話、長時間のゲーム・テレビ視聴など、長い時間がかかることはやらないことです。お風呂はさっと入る、携帯電話やゲームは一切しない、テレビはニュースしか見ないなど、時間を上手に使うことを受験生にはお勧めします。ただし、食事だけはゆっくり摂って下さい。早すぎると体調に影響を及ぼします。

(4) また、親子ゲンカや兄弟ゲンカも避けましょう。親子ゲンカなどをすると、カッとしてそのあと何時間も勉強できない状態になりますし、ひどい場合には、2～3日も勉強が手につかないことにもなりかねません。ケンカしそうになったら、ユーモアで逸らすなどして回避しましょう。その場から離れることも大事です。

(5) 健康管理も、学習時間確保のためには大切です。風邪をひかないようにしましょう。風邪をひくと2～3日寝込むようになりますので、帰宅後の手洗いとうがいを徹底して下さい。便秘になっても体調が崩れます。ですから、繊維質の多い野菜や緑黄色野菜をたくさん摂るようにしましょう。

(6) 最後に、どのような学習法がよいかお話します。

受験生だからといって、次から次へと問題集ばかりやっても、多くの場合成績は伸びません。できたかできないかにとらわれ、できれば喜び、できなければがっかりするだけになって、学習効果とは関係のないものになってしまいがちだからです。

大切なのは、間違えた問題をどうするかです。なぜ間違えたのか、その原因を自分で分析して下さい。「理解」できていないために間違えたのであれば、学校の教科書や説明が丁寧な学年別の参考書でもう一度勉強し直すことです。わからないところは、友達ではなく、学校の先生や塾の先生に聞きましょう。友達は、その内容について詳しいとは限らず、教え方も上手であるとは限りません。ですから、まずは学校の教科書や参考書で勉強し直し、次に、よくわかっている学校や塾の先生に聞くことをお勧めします。

間違えた原因が、よく覚えていなかったため、身に付いていなかったためであるなら、練習をすることです。音読練習、書き取り練習、計算・問題練習を何回も何十回も繰り返し、正確に身に付けることが大切になります。

応用問題の練習不足が原因であるなら、やさしい問題から順番にやってみましょう。一度解いて終わりにするのではなく、2回、3回、……と6回くらいは同じ問題をやるとよいです。

3. おわりに

最後に、受験生の皆さんにぜひ念頭に置いていただきたいことは、悩まないということです。悩む時間は1日30分までと決めて、それ以外は机に向かいましょう。

いくら悩んでも成績は上がりません。悩む「ヒマ」があったら机に向かいましょう。

以上

(2008年8月8日加筆)